



大学体育館のステンドグラス

# 三島学園報

VOL.7  
2006.12

- 大学・家政学科  
「家政学専攻」を「服飾文化専攻」へ名称変更
- 入間田宣夫氏講演会  
「平泉の世界文化遺産登録をめぐって」
- 吉見庄助先生「百寿記念展」



学校法人 三島学園

# 教育を考える季節

学校法人 三島学園 理事長  
池上 雄作

内閣が変わってにわかに教育問題がクローズアップされ、それを考える季節に入った感がある。教育基本法の改正が国会で審議されており、教育再生のための会議が政府直轄で発足した。そんなときに高校の必修科目未履修の実体が顕在化して社会問題となった。本学園には全くないが、全国的に必修科目の代換え授業が行われ虚偽の内申書が出されていたことは教育界として恥ずべきことである。

今の教育が初等中等教育から高等教育に至るまであまりにも多くの問題を抱えていることは事実である。もともと教育は時の変化に対応して変わらなければならない側面を持つから常に満点とはいかないが、ゆとり教育の功罪、いじめ・非行の問題や学力低下の問題など、近頃は根の深い問題が多い。戦後の教育の基本に問題があるという意見、家庭教育の変化を問う意見、学力が低下し日本の教育は危機的水域に達しているという論評、大学における人文学の教育と研究が危機にさしかかっているという議論も出ている。少子化時代に入って私立学園の危機感は今毎年のつらさで来ている。

課題も論評も枚挙に暇がないが、はたして日本の教育が再生が必要というほどに崩壊しているのか、現場を預かる者として疑念を持つ。本学園を見ても、毎日の授業は整然と行

われており、教職員は熱意を傾けて教育指導と業務に当たり、優れた卒業生を送り出している。ここ半世紀の日本の発展は教育の成果として高く評価されてよい。ニュースを賑わすような問題はあるにしても、教育界は自信を持ってよい。

国として教育問題を優先的に取り上げることには賛成である。しかし、その取り上げ方が問題である。現場を直視した姿勢が肝腎であり、学力低下の根源はどこにあるかといった問題や、先進国中で公的支出のGDPに占める割合が先進国中で最低水準にあり、国家百年の大計が教育にあることを念頭にその増加は不可避であるといった論を進めて欲しいと思う。

管理職の立場にあるどうしても学外の動きが気になるが、翻って教育の現場に立つときには、学と教育のために何が大切かを一緒に考えることの方が重要である。抽象的であるが、「読書と述作」と、昔ドイツ語で Lesen und Schreiben と教えられた言葉を思い出した。心身を傾けた読書と述作、教職員にも、学生・生徒にとっても、学園ではこれが基本になる。その姿勢を崩すことなく、教育と学習の改善に努めて欲しいと願っている。

## 吉見庄助先生「百寿記念展」

先生は生活美術学科の創設時から1987年3月までお勤めいただき、退職後も画家としてご活躍されている。このたび百寿をお迎えになるのを記念し、仙台市のカメイ記念展示館に於いて5月25日から7月9日迄展覧会が行われた。先生のライフワークでもある蔵王の風景、とりわけ冬の樹氷をテーマとした作品群は見る者に幻想的な感銘を与えてくれる。

会期中、会場内でのイベント(吉見庄助の絵画・詩と鈴木雅光の音楽によるコラボレーション)や別会場でのお祝いの席にもお元氣な姿を見せられ、盛会に終わった。



「Juhyo Memorial」

## 永年勤続表彰 (平成18年10月25日(水)100周年記念棟2階会議室)

高校教諭 池田信文

25年永年勤続を迎え、改めて多くの方々の支えがあって、今に至っていることを痛感しております。新任から何もわからず、生徒と共に歩み、生徒に教えられた10年。それからやっと教師として一人歩きた10年。生徒の目線で教えることができるようになった最近の5年。

一番うれしく、教師でよかったと感じる時が卒業式です。そして東北生活文化大学高等学校でよかったと生徒から言われた瞬間です。4年前に女子校から男女共学校となり、どんな学校になって行くのだろうかと不安でしたが、そんな不安を打ち消すべしらしい学園に生まれ変わったと思います。今後も創立者の建学の精神である「励み」・「謹み」・「慈み」を受け継ぎ、生徒一人ひとりの為と、学園の発展の為に、尚一層努力して行きたいと思っております。



高校教諭 沼澤 隆

永年に渡り、多くの方々からご指導、ご鞭撻をいただき現在まで勤務できたことを心より感謝申し上げます。これまで幾度となく挫折しそうになった折にも、志を忘れず頑張ってきたのは、何と言いましても担任として卒業生を出した事に尽きると思われます。今年度は、学年部長として初めての卒業式を迎えることとなり、また異なった意味合いで、思い入れの深い式になるものと思っております。また、今後とも全力投球で職務に邁進できるよう、精進してまいります。思いを新たにしております。



## 大学・家政学科「家政学専攻」を「服飾文化専攻」へ名称変更

平成19年4月からは新しい家政学科(定員70名)がスタートする。平成15年4月に家政学科の定員を分割し、家政学を中心に幅広い内容の専門教育を行う家政学専攻(定員20名)と時代の要請に応え栄養士および管理栄養士養成を目的とした健康栄養学専攻(定員40名)の2専攻を設置し、家政学科は2専攻構成の専門教育体制を整えてきた。これまで、家政学専攻は家庭科教員養成を主たる目的として幅の広い教育を行ってきたが、時代の要請に伴いより専門性の高い教育を目指すことを目標に定め検討を加えた。本学創設以来長年の家政学教育と被服学を中心とした教育の実績と伝統を生かし、服飾を科学と文化の両面から追求することを目的とした専門教育を行うためのカリキュラム改正を行った。平成19年度から家政学専攻は服飾・生活文化を学び専門性をよりふかめる「服飾文化専攻」へ名称を変更することになり、また、このほど文部科学省から、定員10名の増員が認められ、定員30名となる。これにより、服飾文化専攻では基礎知識と生活の基調をなす衣食住の実質的要素に、生活の文化形成要素と服飾に関する専門知識を理論と実践の両面からアプローチし、科学的な実験実習を通して確実な知識と技能を身につけさせる。これにより、人間性豊かな社会性のある人材を送り出すことができ、服飾産業の発展など地域貢献にも繋がるものとする。今後は本学家政学科の拡大・発展に向けて、より一層の教育体制の充実が望まれるところである。

## 歴史資料管理委員会発足

本学園には、100年に余る歴史を背景に、種々の歴史資料が受け継がれている。これまでこれらの資料を統一して管理する組織がなかったため、理事会の議を経て歴史資料管理委員会規程が制定・施行され、同窓会員や教職員から10人が委員に委嘱された(8月)。今後、顕彰館や短大資料室のみならず、新たに学内に点在する歴史資料をリストアップし、保管場所を決めて管理するとともに、時に応じて公開展示等も行っていく予定である。



短大資料室

## 幼稚園・保育園の外壁リニューアル

9月の中旬に幼稚園と保育園の外壁の老朽化と耐震性不足に伴い、外壁を取り壊し、新しい外壁を設置した。その外壁に本学園の大学・生活美術学科の学生にデザインと制作を依頼した。学生のオリジナルの温かい絵で一部は、幼稚園の年長児と一緒に筆を持ち絵を描く作業をするなど、園児にとっても貴重な経験をすることができた。これから、未来に向かい“夢”のある外壁画が、ますみ幼稚園・保育園の顔となることを願っている。今後、保育内容の検討や園行事の見直しをはじめ、設備の充実や備品の整理に努め、保護者との連携を図りながら新しい特色を備えた魅力あるますみ幼稚園をつくっていききたい。



## 虹色戦隊 三島レンジャー

三島レンジャーは、短大・子ども生活専攻第一期生によって、昨年度の大学祭企画から誕生したものである。赤・青・緑・黄・ピンクのレンジャーが、悪者を退治するといういわゆる戦隊ものであるが、子どもの夢をほんのわずかに奪ってしまった悪者から、授業内で習得した歌、工作、手遊び、リズム運動を攻撃技として、それをレンジャーが取り戻すという優しい内容に仕上がっている。内容は季節にあわせて題材を考え、学生の創作である。今年度も、保育所、児童館等で発表の機会を与えていただき、それら企画、準備段階では今後の保育士資格取得という点で、大変勉強になっている。今後、代々後輩にレンジャーを引き継ぎ、子どもたちの夢を常に見守り続けてもらいたい。



### 第7回中学生美術コンクール

学園創立100周年を記念してスタートした高等学校主催による「中学生美術コンクール」は、“中学生の皆さんの美術教育への関心を高め、豊かな心を育む”というスローガンのもと今年で7回目を迎えた。今回のコンクールには、参加校43校から応募総数221点の数多くの個性的な作品が寄せられた。最優秀賞には岩沼北中学校3年生の笠原七恵さんの作品「夕方のひまわり」、理事長賞には向陽台中学校1年生の犬友麻実さんの作品「戦争」が選ばれた。



「戦争」



「夕方のひまわり」

### 2006 イラスト・マンガコンクール

今年度は「中学生美術コンクール」に続き、「2006イラスト・マンガコンクール」を新たに開催した。本校では、ここ数年イラスト・マンガについて強い要望があり、外部講師を招き講習会等を実施してきた。また、コンピュータの普及等によりイラストに関心ある生徒が増えている現状の中で、中学生対象に「2006イラスト・マンガコンクール」を開催する運びとなった。応募内容はイラスト部門、4コママンガ部門、ストーリーマンガ部門で募集したところ、応募総数425作品(イラスト部門182作品、4コママンガ部門232作品、ストーリーマンガ部門11作品)が寄せられた。全部門の最優秀賞にはイラスト部門から幸町中学校3年生の山田玲さんの作品「Grape after rain.」が選ばれた。



「Grape after rain.」

## 三島学園公開講座 東北生活文化大学講演会

東北芸術工科大学教授 人間田宣夫氏氏

# 「平泉の世界文化遺産登録をめぐるって」

11月16日(木)13:00~14:30に「三島学園公開講座 東北生活文化大学講演会」が行われた。今回は講師に人間田宣夫氏をお迎えした。人間田氏は、山形大学助教授、東北大学教授を歴任し、現在は東北芸術工科大学教授として活躍している。専門は日本中世史、特に武家政権成立史である。今、人間田氏は、平泉の政治・経済・文化に興味をもっているということで、演題は「平泉の世界文化遺産登録をめぐるって」であった。

会場となった百周年記念ホールは、一般からの応募者をはじめ、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学の学生や教職員など400名を越える来聴者で満員となった。

岩手県にある平泉は、2001年に世界遺産暫定リストに登録し、2008年に世界遺産リストへの本登録をめざしている。都市平泉ならびに周辺農村部における寺社・庭園・遺跡群、山川のたたずまいなど広域的に展開する資産内容への評価を求めるものである。人間田氏によれば遺跡や寺社だけではなく「生活文化」を含めた価値がそこにはあるという。

2006年6月に行なわれた国際専門家の会議の成果をふまえた平泉の価値について、人間田氏は次のような点について述べた。浄土思想の根本理念によってかたちづくられた都市と農村の文化的景観という特色があること。日本の都市の現風景と同じく日本の農

村の現風景が見られること。「古都京都の文化財」や「古都奈良の文化財」とは異なる独自の価値があること。そしてこれらは日本国内はもちろんのこと、アジア・太平洋地域にも、類例を見出すことができないということである。また『吾妻鏡』にある「寺搭已以下注文」を読み解いていくという、ご自身の研究にもふれ、歴史研究の奥深さを示した。

来聴者は、人間田氏の熱のこもった丁寧な説明に、熱心に耳を傾けた。講演後には、東北にこのような素晴らしい文化遺産があることを改めて実感し、誇りに思うなどの感想が寄せられた。人間田氏は講演の中で、くりかえし「生活文化」という語をあげていた。大学の校名にもあるこのキーワードからも、このたびの講演が東北生活文化大学講演会として、まさにふさわしいものであったといえるだろう。



## ◎平成19年度 入試日程

### 【東北生活文化大学】

種別	出願期間	試験日
推薦入試	平成18年11月1日(水) ～ 11月13日(月)	平成18年11月18日(土)
一般入試 A日程	平成19年1月11日(木) ～ 1月26日(金)	平成19年2月3日(土)
一般入試 B日程	平成19年2月13日(火) ～ 2月26日(月)	平成19年3月2日(金)

◎資料請求・問い合わせ先:入試課(TEL.022-272-7521)

### 【東北生活文化大学短期大学部】

種別	出願期間	試験日
AO入試	平成18年10月17日(火) ～ 10月23日(月)	平成18年10月28日(土)
推薦入試	平成18年11月1日(水) ～ 11月13日(月)	平成18年11月18日(土)
一般入試 A日程	平成19年1月11日(木) ～ 1月26日(金)	平成19年2月4日(日)
一般入試 B日程	平成19年2月13日(火) ～ 2月26日(月)	平成19年3月2日(金)

◎資料請求・問い合わせ先:入試課(TEL.022-272-7521)

### 【社会人入試:大学・短大】

種別	出願期間	試験日
特別選抜	平成19年1月26日(金) ～ 2月19日(月)	平成19年2月24日(土)

◎資料請求・問い合わせ先:入試課(TEL.022-272-7521)

### 【私費外国人留学生入試:大学・短大】

種別	学科	出願期間	試験日
特別選抜	大学:家政学科 服飾文化専攻	平成19年1月26日(金) ～ 2月9日(金)	平成19年 2月24日(土)
	生活美術学科		
	短大:生活文化学科生活学専攻		

◎資料請求・問い合わせ先:入試課(TEL.022-272-7521)

### 【編入学試験】

学科	出願期間	試験日
大学:家政学科 家政学専攻 生活美術学科	平成18年11月1日(水) ～ 11月14日(火)	平成18年11月25日(土)

◎資料請求・問い合わせ先:教務課(TEL.022-272-7513)

### 【東北生活文化大学高等学校】

種別	出願期間	試験日
特待生(学力・美術・スポーツ)推薦入試	平成19年1月5日(金) ～ 1月15日(月)	平成19年1月17日(水)
一般推薦入試		
美術推薦入試		
自己推薦入試(美術コース希望者を含む)	平成19年1月5日(金) ～ 1月24日(水)	平成19年2月5日(月)
一般入試 専願入試		

◎資料請求・問い合わせ先:入試広報室(TEL.022-272-7522)

### 【ますみ幼稚園】

願書配布	願書受付
平成18年9月1日(金)～10月31日(火)	平成18年11月1日(水)

◎資料請求・問い合わせ先:ますみ幼稚園(TEL.022-225-5020)

### 【ますみ保育園】

◎資料請求・問い合わせ先:ますみ保育園(TEL.022-227-7080)

## ファッション甲子園2006 第6回全国 高等学校ファッションデザイン選手権大会

8月26日(土)、青森県弘前市民会館で行われた。ファッション甲子園2003から取り組み、3年連続の第6回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会の決勝に進むことができた。全国47都道府県から387校1,870チームから3,895点の応募があり大変な激戦だった。選ばれた3名(清水舞衣・山本綾子・渡部郷美)は美術コース5期生。今後の東北生活文化大学高等学校の新校風づくりにとって大変良かったと思う。また、1年生から3年生まで美術コース、普通科・美術選択の生徒達が制作を盛り上げてくれたおかげで、このような良い結果が出せた。



## ミス・ダンスドリルチーム 日本大会2006出場

7月31日(月)、東京国立代々木競技場第二体育館で、NPO(特定非営利活動法人)主催のミス・ダンスドリルチーム日本大会が開催された。本校は初めて東北・北海道予選大会に挑戦し、日本大会への出場を認定され参加することが出来た。3学年男女10名2学年4名の計14名で演技を披露した。日本大会では、予選大会よりも評価が上がり、生徒達もまた一層自信を持つことが出来た。



## 第10回クリスタル杯争奪 夏季選抜ソフトボール大会

平成18年9月30日(土)、10月1日(日)の2日間にわたり、福島県石川町民グラウンドにおいて、第10回クリスタル杯争奪夏季選抜ソフトボール大会が開催され、関東・東北各県から計14チームが参加した。1日目は予選リーグで、明秀日立高校、那須拓陽高校を相手に2勝し、リーグ1位で予選を通過した。2日目、準決勝は、湘南学院に1-0で、決勝戦は帝京安積高校に1-0で勝ち、優勝することができた。



## 第30回全国高等学校総合文化祭

平成18年8月2日(水)から6日(日)の期間において京都府の京都市勧業館(みやこめっせ)にて第30回全国高等学校総合文化祭が開催された。3学年の高橋綾華が美術・工芸部門で宮城県代表として「豊かな表情」という油彩の作品を出品した。全国から総出品数385点の平面・立体作品が展示され、文化連盟賞を受賞した。全体の講評会の際、日本画家の千住博氏が出品作品から特にすぐれた10点を選び、その中の1点として大変大きな評価を受けた。



### 学生・生徒の活躍

大  
学

- 生活美術学科
  - 第60回岐阜県美術展／一般の部【グラフィックデザイン部門(版画)／佳作】津田智美(生活美術学科3年)
  - トーキョーワンダーウォール2006【入選】藤原和矩(生活美術学科3年)
- 少林寺拳法部
  - 第59回宮城県民体育大会少林寺拳法演武大会【大学女子級の部／優秀賞】阿部あゆみ(生活美術学科3年) 星 悠子(生活美術学科3年)
  - 【大学男子級の部／優良賞】工藤貴史(家政学科1年)
  - 第39回少林寺拳法東北学生大会【女子単独演武の部／最優秀賞】星 悠子(生活美術学科3年) 【団体演武の部／最優秀賞】阿部あゆみ(生活美術学科3年)他5名
  - 第43回仙台市民総合体育大会 少林寺拳法演武大会【大学女子初段の部／最優秀賞】星 悠子(生活美術学科3年) 阿部あゆみ(生活美術学科3年)

高  
校

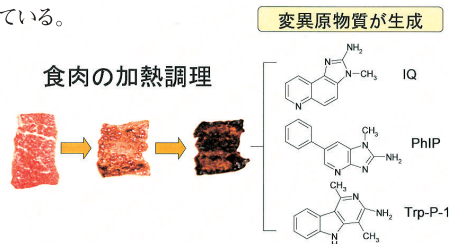
- ソフトボール部
  - 第20回宮城県ソフトボール総合選手権大会【高校の部(女子)／優勝】
  - 第33回高校女子ソフトボール選手権大会【第2位】【優秀選手賞】高橋沙弥香(総合教養コース2年)
  - 【優秀選手賞】荒 舞衣(進学コース2年)
  - 【優秀選手賞】藤岡紀江(進学コース2年)
  - 第15回仙台市高等学校男子ソフトボール選手権大会【優勝】【最優秀選手賞】遠見公輔(保育コース3年)
  - 【優秀選手賞】岩石宏樹(進学コース2年)
  - 【優秀選手賞】佐藤翔太(進学コース2年)
  - 第11回若あゆ林争奪東北高校女子ソフトボール大会【第1位】【最優秀選手賞】高橋沙弥香(総合教養コース2年)
  - 第33回東北総合体育大会/ソフトボール競技少年女子【第3位】
  - 第10回クリスタル杯争奪夏季選抜ソフトボール大会【優勝】
  - 宮城県高等学校新人ソフトボール大会【第3位】
  - 第14回東北私立高等学校女子選抜ソフトボール大会【第2位】
- バレーボール部
  - 第55回宮城県高等学校総合体育大会(女子)【第3位】
  - 宮城県私立高等学校バレーボール選手権大会(女子の部)【第3位】
  - 第27回仙台市民総合体育大会【第3位】
- 平成18年度宮城県高等学校新人大会バレーボール競技【第3位】
- 水泳部
  - 平成18年度宮城県民体育大会水泳競技会【男子高校50メートルバタフライ／第3位】静谷存吾(普通科1年)
- 卓球部
  - 第27回宮城県私立高等学校卓球選手権大会(女子団体)【第3位】
- 少林寺拳法
  - 第55回宮城県高等学校総合体育大会【女子単独演武の部／第1位】西森愛美(経営デザインコース2年)
  - 平成18年度宮城県高等学校新人大会少林寺拳法競技(第5回宮城県高等学校少林寺拳法新人大会)【男子総合／第2位、男子団体演武／第2位】【女子単独演武／優勝】西森愛美(経営デザインコース2年)
  - 【女子単独演武／第2位】今野沙紀(総合教養コース2年)
  - 【女子組演武／優勝】
  - 【男子単独演武／第3位】伊藤駿(普通科1年)
- 美術部
  - 第32回東北現代工芸展【準賞】高杉真以(美術コース3年)
  - 【奨励賞】大見川梨乃(美術コース3年)
- 第30回全国高等学校総合文化祭【文化連盟賞】高橋綾華(美術コース3年)
- 第6回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会【入賞】清水舞衣(美術コース2年) 山本綾子(美術コース2年) 渡部郷美(美術コース2年)
- 第24回泉・黒川地区高等学校美術展【泉・黒川地区高等学校美術部会長賞】藤倉麻美(美術コース3年) 【泉・黒川地区高等学校美術部会長賞】齋藤美香(美術コース2年)
- 第2回石巻市美術展【石巻市協議会議長賞】伊藤聖子(美術コース3年)
- ヨコハマファッションアワード2006【高校生の部／佳作】遠藤紗希(美術コース2年) 三井南松(美術コース2年) 今野謙(美術コース2年)
- 第13回全国高等学校デザイン選手権大会【優良賞】村岡舞(進学コース2年) 【審査員特別賞】田中囀(普通科1年)
- 写真部
  - 第5回宮城県高等学校夏季写真コンテスト【優良賞】村岡舞(進学コース2年) 【審査員特別賞】田中囀(普通科1年)
- ダンス部
  - ミス・ダンスドリルチーム2006日本大会【日本大会出場】

## 教育研究

西野徳三教授(大学・家政学科)のテーマは「有機性廃棄物の有効利用の研究」。水分が80%近くもある生ごみのほとんどは助燃剤を用いて焼却処分されており、リサイクル率は1%弱でしかない。それを資源の無駄とみなして、家庭のごみ処理機で有効活用する方式を研究。ユニークな酸性コンポスト化に行き着きそのメカニズムを研究中。処理機能が安定に持続し、酸性状態が維持される理由は乳酸菌が主となることを解明し、装置の大型化、堆肥以外の利用の可能性などを模索している。こうした研究成果により、今年9月に(財)みやぎ産業振興機構「生ごみ処理研究会」が県予算を受けて発足した。なおこの研究は平成17年度環境省の科学研究費の交付を受けている。



鈴木裕行助教授(大学・家政学科)は、平成17・18年度にかけて(社)中央味噌研究所からの受託研究で、「味噌の加熱調理により生じる抗変異原性に関する研究」を実施している。肉や魚を高温調理した際、生じる焼焦げに種々の変異原性物質(遺伝子に突然変異を起させる物質;発癌の原因になる)が生成することが知られている。これまでの研究で肉・魚を味噌漬け処理してから調理すると変異原性の発現が抑制でき、その作用は味噌中の脂質成分によることが明らかになった。現在、その物質の作用機構を研究している。



川又勝子講師(大学・家政学科)は、「仙台型染めの研究 一常盤紺型、仙台浴衣、仙台手拭い—」として、かつて仙台地方で行われていた常盤紺型染めや、常盤紺型染めが衰退した後に行われた浴衣・手拭い染めに使用されていた「染型紙」の整理・保存に取り組んでいる。長期間放置され、破損箇所が多く、今後も劣化が進むこれらをデジタルデータとして保存・整理するとともに、画像処理で文様の修復を行っている。この研究は平成18年度文部科学省科学研究費補助金【若手研究(B)】の交付を受けている。



杉林英彦講師(大学・生活美術学科)のテーマは、「美術鑑賞における触覚の特性と役割に関する研究」。研究の目的は、美術鑑賞活動における触覚が果たす役割について、鑑賞者の発話分析から明らかにしようとするものである。その分析・検証の過程は、鑑賞者が美術作品から受ける「触覚性」を見いだし、その特性をみることができると考えた。鑑賞者の発話分析に関しては、杉林講師がこれまで研究実績として展開してきた認知科学的観点による分析を行う。これにより、鑑賞活動における触覚性の重要性を示すことを目指している。そして、この研究に成果が、視覚に偏らない美術鑑賞活動を評価する一助になることを期待する。なおこの研究は、平成17~19年度文部科学省科学研究費の交付を受けている。



## 大学祭

10月21・22日に大学祭が開催された。今年のテーマは「愛 三島博 地球にやさしく」で、エコ、リサイクルなどに関連した多くの企画が盛り込まれた。幸いに両日とも好天に恵まれ、近隣の方や子供連れなど学外からの来場者も目立った。恒例の生活美術学科内コンクール、ファッションショーやお笑いライブなどの企画に加え、今回初めて後援会企画「懐かしの仙台市電」・「尺八演奏」も開催され、大いに来場者の好評を博していた。



### 学園歴史探訪

#### 「励み 謹み 慈み」学園長 佐藤 兎 先生

馴れ親しんだ校訓「励み 謹み 慈み」は学園長佐藤 兎 先生が三島よし先生作詞の校歌の歌詞を要約して用いられたものと言われている。先生は三島駒治先生の近親に当られ学生時代から御夫妻の身近で過ごされた。東北帝大理学科を卒業、工学博士の学位を持ち、理化学研究所に勤務。戦時中から理事として学園の運営に携わっておられたが、昭和23年理事長に就任、戦後の混乱の中、学園の建直しに尽力され、大学・短大の学長、高校長、同44年には学園長、幼稚園長になられた。先生は多くの著名人を招聘して講(公)演会を開催された。六代目菊五郎(昭23、講堂落成記念)、本田光太郎博士(昭24)など、又教員の資質向上のため内地留学も積極的に取り入れるなど学園の発展の基礎を築かれた。山を愛し学生と登山を楽しまれ、またある時は職員に昼食のサービスするなど、「園長先生」の愛称で親しまれた。先生のことが「いただいた手紙に返事書く時は語り合うごとく楽しみにして」はお人柄が偲ばれる。



## 東北生活文化大学

### 家政学科

7月30日、8月11日のオープンキャンパスにおいて家政学科は、西野徳三教授「蛍の光を利用した清潔度チェック」、大庭清教授「食品のフリーズドライいろいろ」、川又勝子講師「染めるっておもしろい」を開講。多数の高校生が参加し好評を得た。また、8月3日には健康栄養学専攻2年生が宮城県給食管理施設や工場を見学する施設研修を、9月12日から15日には家政学専攻2年生が福岡・広島方面の博物館や工場を見学する研修旅行を行った。専門性を高める意義深い研修となった。



### 生活美術学科

18年度学科内コンクールのメッセ審査・授賞式が10月19日で無事終了した。学科の最重要行事であるこの催しは今年で33回目となる。公開審査形式で行うユニークなものであったが、展示スペース等の関係で昨年より非公開審査となった。受賞作品は全国レベルの展覧会に出してもひけをとらない力作ぞろいであり、全応募作品が大学祭で一般公開された。学生たちの様々な試み、表現を毎年楽しみにしてくださる方々も多いようである。



## 東北生活文化大学短期大学部

短大は2専攻制として2年目となり、本来の教育体制が整ったといえる。その中で子ども生活専攻は保育士資格取得の為に学外での保育実習を行っている。2年次学生は5月29日から6月10日までの保育所実習を皮切りに、7月24日から8月5日まで児童福祉施設における実習、さらに10月23日から11月4日まで最後の保育所実習を終えた。学生は入学以来、ますみ保育園・幼稚園・児童福祉施設における見学・観察実習やボランティア活動への参加により子どもたちと接する機会が多くなってきているが、やはり実習生として2週間ずつ3回計6週間、保育の現場に立つということは相当な緊張感を伴うものである。実習にあたっては、体と心と物の準備が肝心である。日頃から健康管理に留意し、実習生としての意識意欲を高め、教材研究を十分に行い、保育現場では明るい笑顔・元気な挨拶・積極的な行動を心掛け、学生とともに我々教員も成長していくことを願う。

## 東北生活文化大学高等学校

高等学校では学校改革の一つとして数年前から近隣の町内会、児童センター、特殊老人ホーム、保育園、小学校等、地域との交流に積極的に取り組んできた。そのこともあり最近では、地域の方々に本校の「良さ」や教育活動を理解していただけるようになった。これからも「地域から愛され信頼される学校創り」を目指し、交流を推し進めてまいり所存である。

特に、虹の丘町内会とはより交流が盛んになってきた。新年会、敬老会、交通安全啓蒙活動の他に夏祭りにおいては、生徒のボランティア活動だけでなく、校長以下10数名の教諭も参加した。「祭」と「生文高」と染めた揃いのTシャツを着用し、チヂミや目薬の木を販売して祭りを盛り上げ、会場警備では祭りに足を運んでくださった人々への案内誘導を務めた。また、秋の文化祭では、茶道部が「野点」を通して地域との交流を深めました。また、生文祭には「町内会の部屋」が設けられ、町内の方々の作品が展示された。

年2回行っている全校生による地域の大掃除実施にあたり、町内会長はじめ多くの方々の協力をいただいている。その他、児童センターや保育園、特殊老人ホームでは、生徒によるボランティア活動や教員との交流会を年に20回前後行っている。

8月には虹の丘小学校から、陸上記録会に向けての指導ボランティアの要請があった。陸上部顧問と部員が一ヶ月程小学校に出向き、児童に指導を行った。その成果として9月下旬に行われた仙台市内小学校陸上記録会において、昨年の4倍増の入賞者を出したと、小学校長から喜びの報告があった。今後は文学部による「読み聞かせ」ボランティアの実施や教員の出前授業などの企画が検討されている。

## ますみ幼稚園

毎日幼稚園には、子ども達の笑顔と笑い声が響いている。10月には、第52回の運動会が開催され、今年度より導入した体操教室の指導員のもと、組立体操とパルーンが行われた。ひとつひとつの子ども達の動きに大きな感動と喜び、そして成長を感じることが出来、園児、保護者、教職員とがひとつになり楽しむことのできた心に残る運動会だった。

冬に向け、親子クッキング・クラス懇談会・クリスマス発表会などが予定されている。それぞれの行事を通し、園児の心の成長がなされる、そして保護者へのより良い子育て支援ができるような保育を行っている。

## ますみ保育園

毎朝どの保育室からもにぎやかな声が響き元気に過ごしている。4か月の赤ちゃんが入園して68名となり、より一層、安全・衛生に気を配って日々の保育に当たっている。

3年目となる今年は保育園としての行事も充実し、保護者からも喜ばれている。特に幼稚園バスを運行してもらうことで、8月には泉ヶ岳の少年自然の家で「お泊まり保育」を実施。その他天文台、美術館等公共施設を利用したり、近郊の公園に行ったり、園外での保育活動ができることは大変恵まれている。また、高校のシルベン先生による英語遊びが子供たちにも大人気で、毎回とても楽しんでいる。

民間保育園が増えていく中で、三島学園の「保育園」としてどのように特色を打ち出していけるのかこれが今後の課題である。

## 創立者三島よし先生のお写真ご寄贈



古い同窓生のご家族から左の写真をお送り頂いた。写真の裏には、よし先生ご自身により次のように記されている。

昭和二年二月七日夜、大正天皇ご大葬儀参列記念撮影 三島好子 阿部愛子様  
「服装史の上からも参考になるかと思い送らせて頂きます。」とあり、学園歴史資料の一点として大切に保管していきたい。

## 理事会の 主なる 議題

- 平成18年7月15日（記念棟2階会議室）
  - 大学家政学部家政学科家政学専攻の名称変更および定員増について
  - 名称変更及び定員増に伴う大学の学則変更について
  - 大学及び短期大学の教職員組織変更に伴う大学及び短期大学の学則変更について
  - 短期大学部生活文化学科「子ども生活専攻」における幼稚園教諭二種免許状の取得に伴う学則変更について
- 平成18年10月28日（記念棟2階会議室）
  - 大学学長候補者推薦委員会、及び短期大学部学長候補者推薦委員会の設置について
  - 学内規程・要項等の整備について
  - 寄付金募集について
  - 平成19年度編入学の入学金について



## 「惑わす」

大学・生活美術学科4年 本田卓子

(750mm×750mm シルクスクリーン/学科内コンクール最優秀賞受賞作品)

私はトカゲが好きです。闇夜に艶めくように浮かび上がる何とも言えない色、生温かい体温、ツツツした皮膚、つぶらな瞳、その感覚を表現することが私の4年間の一つの目標でした。

この作品はトカゲのそういった皮膚感を表現しています。ウロコの形を微妙な色で何度も重ねることにより、生き物の生命感、躍動感を意識して作りました。

## 編集後記

2006年も残り僅か。少ない紙面で盛りだくさんの情報。文字は小さめですが今年を振り返り、また、発信できる学園の情報誌です。新しく誕生した広報室と、新メンバーの広報委員会と共に作成した本誌を、これまで以上によりよろしくお願いいたします。

(三島学園 広報室・広報委員会)

学校法人 三島学園 学園報 第7号 平成18年12月1日発行 三島学園広報委員会編集

III 学校法人 三島学園 〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1-18 TEL.022-272-7511(代) FAX.022-272-7516  
[URL] <http://www.mishima.ac.jp> [E-mail] [hojin@mishima.ac.jp](mailto:hojin@mishima.ac.jp)